

インフラマネジメント基盤「D o b o X」の運用開始について

1 要旨・目的

令和3年3月に策定した「広島デジフラ構想」に掲げるデータ利活用の推進に向け、公共土木施設に関する情報の一元化・オープンデータ化を可能とするシステム基盤であるインフラマネジメント基盤（D o b o X）の運用を、6月28日（火）に開始する。

2 現状・背景

インフラデータについては、道路の規制情報や河川の観測情報などのデータが施設毎に構築したシステム等で個々に管理されており、施設管理者間で十分な連携が図れていないことや、オープンデータ化が十分でないことから、民間企業等でのデータの利活用が進んでおらず、利便性などの県民サービスの更なる向上などにつなげるためには、インフラデータを官民で利活用できる仕組みの構築が必要となっている。

3 概要

(1) 対象者

県民、民間事業者等

(2) 事業内容（実施内容）

本システム基盤の主な機能は次のとおり。

①公開機能：3Dマップや地図上でデータを重ね合わせて確認できる機能

地図やカタログからデータを検索・ダウンロードできる機能

②集約機能：既存システムとの自動連携によるデータ取得やシステム基盤に直接

データを登録できる機能

③管理機能：データの閲覧権限等を設定する機能

(3) スケジュール

令和4年6月28日（火）9時 運用開始予定

(4) 予算（単県）

区分	令和3年度予算額
インフラマネジメント基盤構築事業	110,000千円

(5) 今後の対応

運用開始後も、D o b o Xを活用したデータ連携市町等の拡大や、データの利活用促進に向けた取組を推進する。

4 その他（関連情報等）

D o b o Xポータルサイトについて

URL：<https://hiroshima-dobox.jp/>

■ トップページ

広島県
DoboX

データカタログ 地図からデータを探す データから見えるもの お知らせ Ja / En

ログイン ヘルプ アイデアボックス

公共土木施設等に関する情報の一元化・オープンデータ化や
官民でのデータ連携を可能とするシステム基盤

DoboX

土木 × DX - ドボックス

データの利活用が可能となる
インフラマネジメント基盤 DoboX

インフラデータの利活用による、建設分野の生産性向上や新たなサービス・付加価値の創出を目指して

AA DoboX HIRO

データから見えるもの

インフラデータを活用した、可視化コンテンツです。災害リスク情報や公共土木施設
の点検結果等が3DマップやGIS上で確認できます。

お知らせ

全て	2022/05/24	改正価格上
お知らせ	2022/05/23	改正価格上
修正報告	2022/04/25	お知らせシステム更新
一覧へ		

データカタログ 地図からデータを探す データから見えるもの お知らせ

ログイン ヘルプ アイデアボックス

データ活用アプリケーション 開発依頼情報 アカウント申請 API利用申請 利用規約 プライバシーポリシー

広島県 広島県土木建築局建設ロジクス
広島市中区基町1-1-1 5階501号（上級4階） TEL: 082-513-3561

©2022 Hiroshima Prefecture

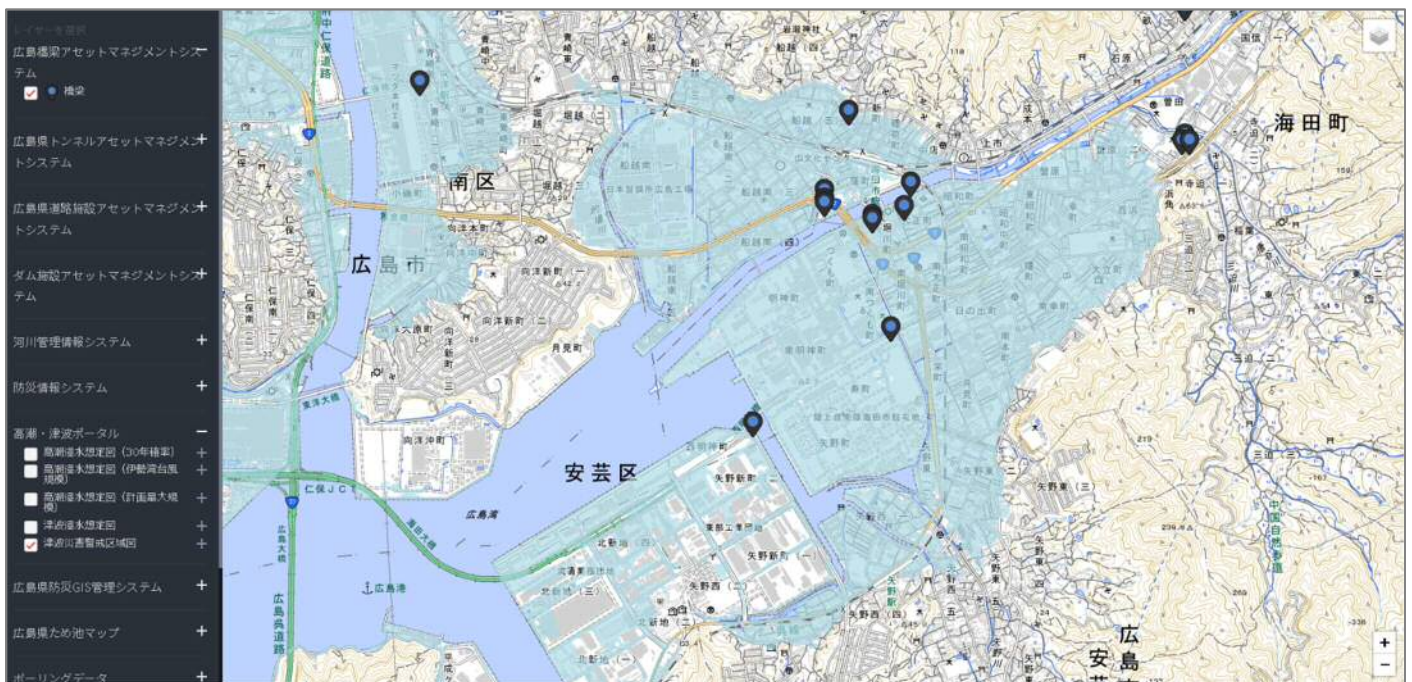
■公開機能

1) 3Dマップでのデータの重ね合わせ



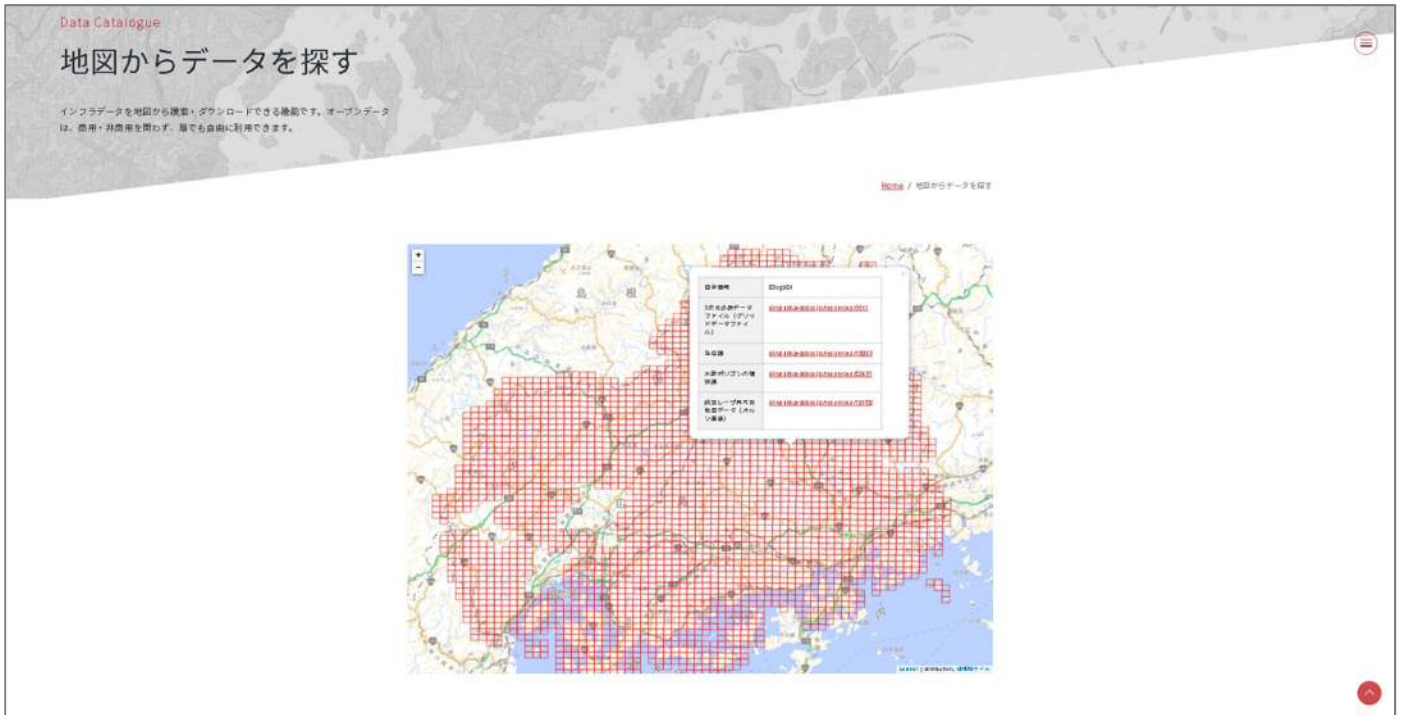
※開発中のイメージ画像

2) 地図上でのデータの重ね合わせ



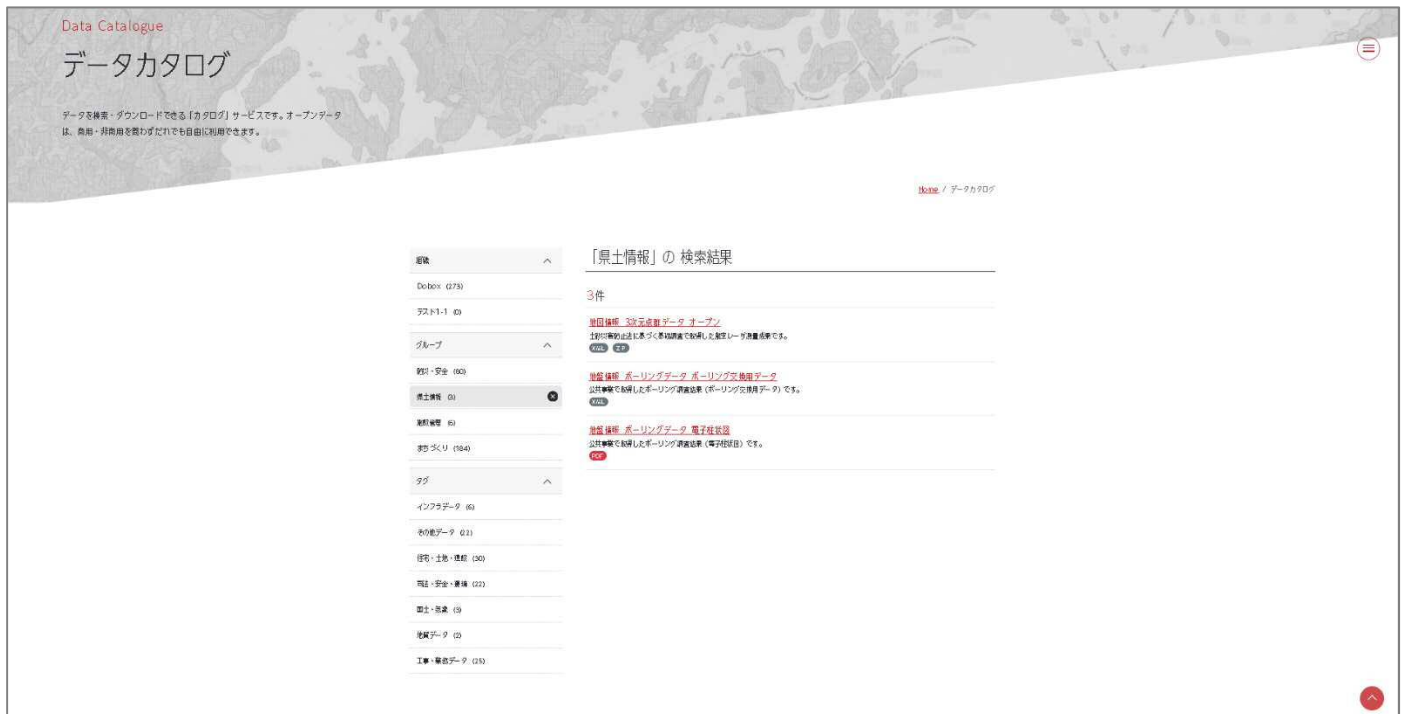
※開発中のイメージ画像

3) 地図からデータを検索



※開発中のイメージ画像

4) データカタログからデータを検索



※開発中のイメージ画像